

# 医療面接入門 Medical Interview

素養科目 1、2、3年／前期または後期 1単位 選択科目

科目責任者 町田 いづみ (医療コミュニケーション学研究室)

## ■ 教育目的

薬物治療行なうためには、病気や薬の知識に加えて、患者情報が必要不可欠である。こうした患者情報は医療面接を通して収集することになるのだが、当然、治療を必要とする患者さんは、身体的状態も、疾患に対する知識も、疾患に対する気持ちも、社会の中での役割も、一人ひとり異なる。そうした患者さんときちんと向き合い、薬物治療に必要な情報を過不足なく収集できなければ、効果的な薬物治療を提供することもできない。この授業では、将来、臨床薬剤師として働くときに必要となる、医療面接の基本的な知識と技能を学ぶ。

## ■ 学習到達目標

1. コミュニケーションを正しく理解し医療面接を行うことができる。
2. 双方向性の面接を通して、薬物治療に必要な患者情報を過不足なく収集することができる。
3. 収集した情報を適切に評価することができる。
4. 評価した内容に基づいた効果的な治療的介入ができる。

## ■ 準備学習（予習・復習）

授業の中で扱う疾患や薬物等について調べること。

## ■ 授業内容

授業は主に演習形式で進めていく。具体的には、様々なテーマについてのグループディスカッション・情報収集演習・パンフレット作成・薬物治療演習などを行なう。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～4	医療面接の基礎	薬剤師の仕事ってなに？ 医療者に必要なコミュニケーション能力ってなに？ 患者さんをどうやって理解するの？ 障害者心理を理解しよう！ 友達の休日プランを立ててみよう！	A (2) -1-3 A (3) -1-1・2・3 A (3) -2-1・2
5～7	薬物治療の基礎	薬物治療に必要な情報とは？ 手荒れや水虫治療に必要な情報とは？ 治療に有用なパンフレットを作ろう！ 症例を作ろう！	A (2) -1-3 A (3) -1-1・2 A (3) -2-1・2
8～13	演習	薬物治療者を体験しよう！	A (2) -1-3 A (3) -1-1・2・3 A (3) -2-1・2
14	ビデオ観賞	薬剤師物語	A (2) -1-3 A (3) -3-1・2・3・4・5
15	外部講師から学ぶ	臨床薬剤師への招待	A (2) -1-3 A (3) -1-1・2・3 A (3) -2-1・2

## ■ 授業分担者

町田いづみ、伊東明彦

## ■ 成績評価方法

期末試験 (25%)  
出席状況・授業態度 (25%)  
演習 (25%)  
レポート他提出物 (25%)

## ■ 教科書

『服薬援助のための医療コミュニケーション・スキル・アップ』 町田 いづみ 著 (星和書店)

## ■ その他

演習中心の授業となるため、全出席を基本とし、正当な理由のない遅刻は認めない。演習への積極的な参加を必要とする。